

令和4年度事業報告

1 管理運営事業 (館報 P. 7- 「IV 観覧者及び施設利用の状況」)

※括弧内は増減率

(1) 決算

・歳出	558,899 千円	前年度比	315,186 千円増加	(129.3%)
・歳入	259,291 千円	前年度比	245,426 千円増加	(1770.1%)

歳出の主な項目

【博物館事業】

・特別展「英国カラクリ人形」の開催	5,175 千円
・企画展「ぐるぐるー自然界のかたちー」の開催	498 千円
・令和5年度特別展用鳥剥製の制作	973 千円

【施設・展示設備等の更新・修繕】

施設・展示設備等の維持・管理のため必要な修繕等を実施した。

〔施設〕

・非常照明用蓄電池の更新	2,750 千円
・AIカメラ設置	1,395 千円
・空調設備関係の修繕	410 千円

〔展示〕

・プラネタリウム更新	323,785 千円
・動刻ティラノサウルスコンプレッサ交換	1,650 千円
・「ダイヤモンドダスト発生装置」の発生制御部等のオーバーホール	1,211 千円

(2) 入館者数

99,948 人	前年度比	10,933 人増加	(12.28%)
----------	------	------------	----------

(3) カップル無料の日

毎週土曜日に高校生以上のカップルで来館すると入館料を無料とする事業

8,064 人	前年度比	982 人増加	(13.87%)
---------	------	---------	----------

(4) 高校生等の無料化

高校生以下の入館料を無料とする事業 (平成29年4月から通年無料)

42,606 人	前年度比	2,574 人増加	(6.43%)
----------	------	-----------	---------

※うち高校生数

1,180 人	前年度比	226 人増加	(23.69%)
---------	------	---------	----------

(5) 孫とおでかけ支援事業

祖父母とお孫さんが一緒に来館すると入館料を無料とする事業

〔令和4年度対象自治体：富山市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、高岡市、氷見市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町、魚津市、黒部市の県内13市町村。〕

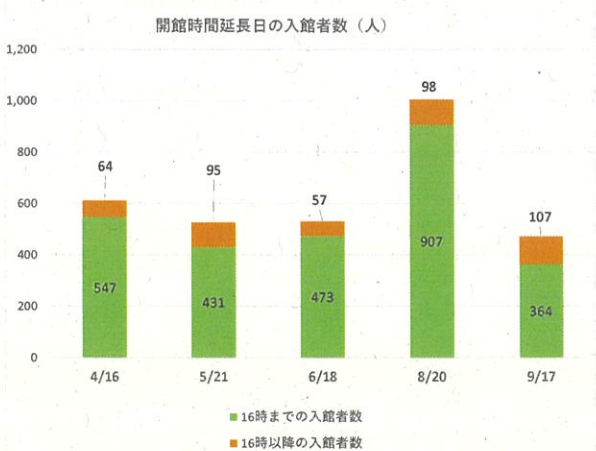
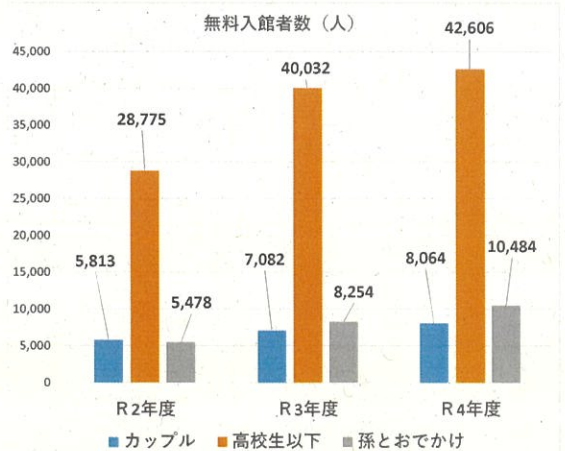
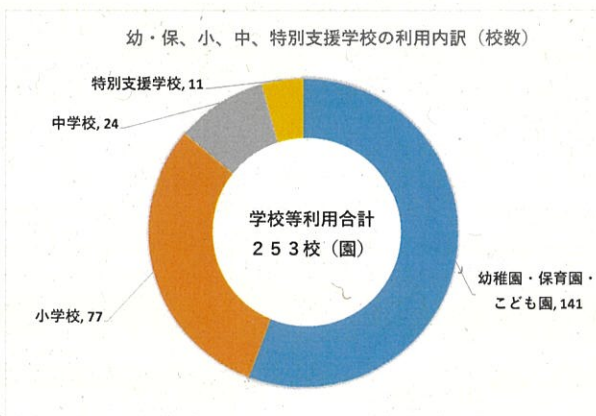
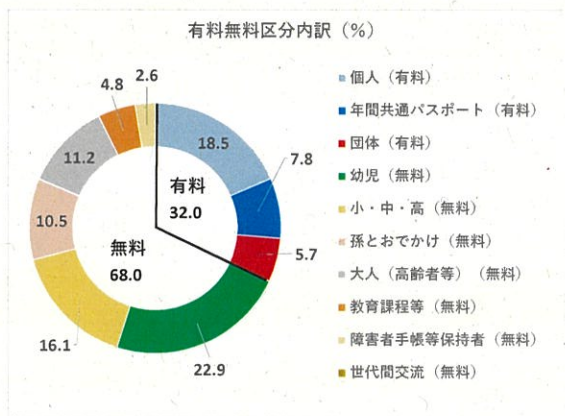
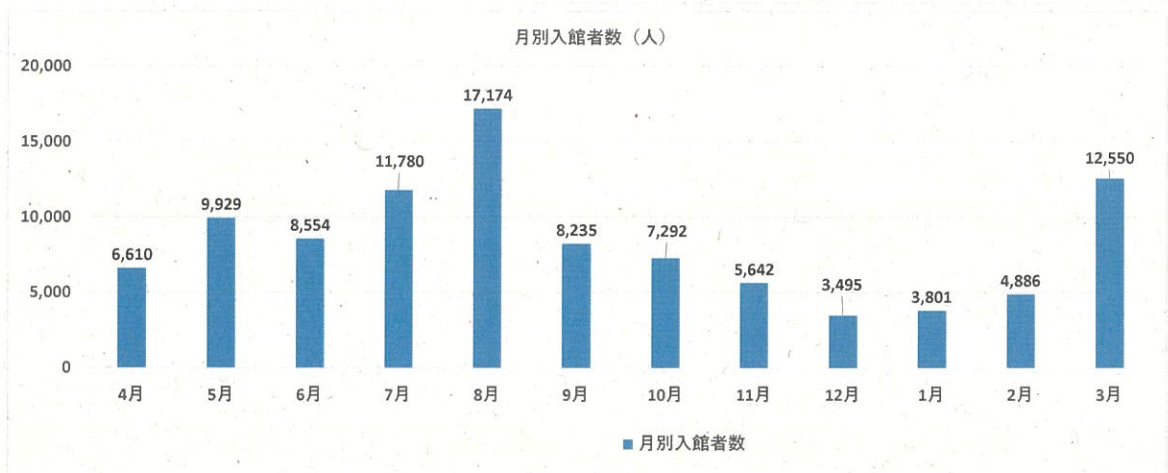
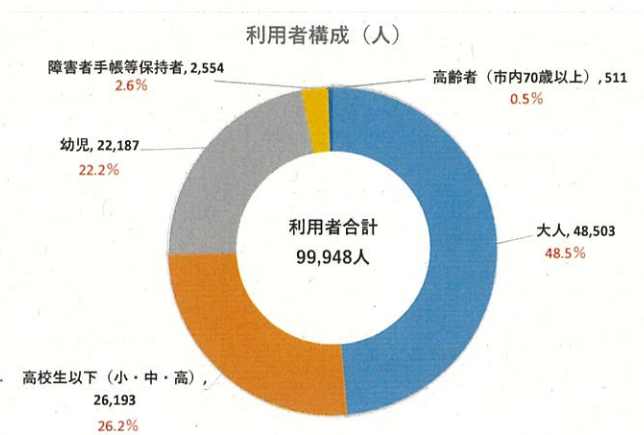
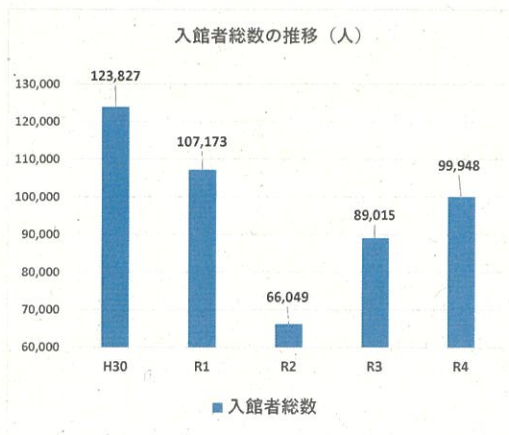
祖父母 4,710人 孫・ひ孫 5,774人 計 10,484人

前年度比 2,230人増加(27.02%)

(6) 開館時間延長の実施

- ・4、5、6、8、9月の各第3土曜日に、開館時間を午後7時まで延長し、イブニングプラネタリウムを実施した。

令和4年度観覧者の状況



2 調査研究事業 (館報 P. 12-)

分野別研究・博物館学的研究

研究報告第46号の発行、学術論文・学会などでの発表、読み物執筆。

科学研究費補助金による研究。

科学セミナーを1回開催。研修や学会に参加(現地、及びオンライン)。

研究発表会を3月に開催(YouTube Liveでの配信を試行)。

3 展示事業 (館報 P. 17-)

プラネタリウムリニューアルに合わせ、3階天文展示室をリニューアルし、天文映像コーナー、太陽系の惑星の特徴が学べ表面重力の違いが体感できる展示、最新の星空情報コーナーなどを設置した。

特別展を1回、企画展を7回、ロビー展を14回開催。「展示オリエンテーリング」を1月から始めた。

主な展示会

・特別展「英国カラクリ人形」

からくりの仕組みが見えるよう制作されたイギリスの現代からくり人形45点、歯車などの機構模型13点を、からくり人形の歴史や構造の解説とあわせ展示。

期間：令和4年7月16日(土)～9月4日(日)

観覧者数：20,516人

・企画展「ふしぎいっぱい自然と科学」

身近な自然や現象の中にある不思議を体験により発見出来るよう、「比べてみよう!」や「かいてみよう!」など9つの体験コーナーで構成し展示。

期間：令和4年9月14日(水)～10月5日(水)

・企画展「ぐるぐる-自然界のかたち-」

渦巻銀河、台風、DNAなど、自然界の渦巻き模様やらせん構造のものを、形の規則性やその意味の解説とあわせて展示。

期間：令和5年3月4日(土)～5月21日(日)

4 資料収集事業 (館報 P. 21-)

令和4年度増加資料数	12,145点
総収蔵資料数	513,431点
標本データ件数	346,188件
データベース化率	67.4%

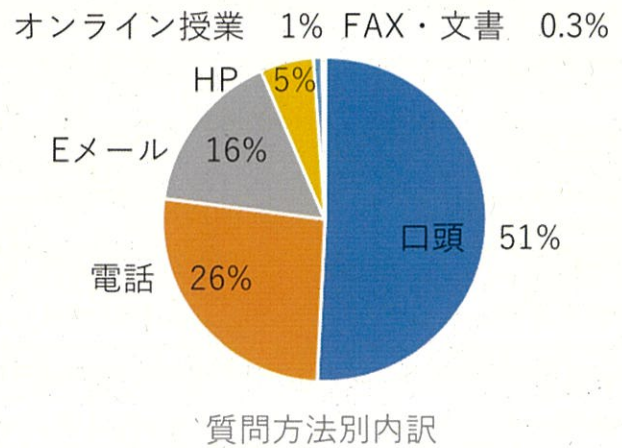
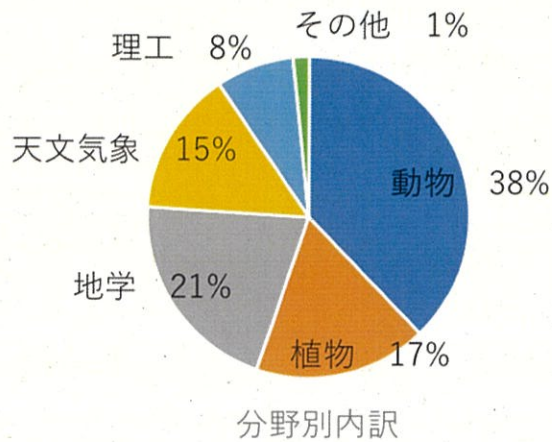
5 普及教育事業 (館報 P. 25-)

(1) 行事

行事タイトル数	: 88
のべ開催日数	: 306日
参加者総数	: 11,379人

・とやまの自然探検	6回
・サイエンスライブ	土日休、1日2回(のべ103日)
・科学教室	6回
・講演会	1回
・星空観察会(毎週土曜日の夜)・特別観察会	104回
・オンライン天文観察会	1件
・ボランティアによるイベント	4回
・自由研究のすすめかた相談会	6回
・標本の名前を調べる会及びまとめかた相談会	1回
・夏休みクイズラリー	19日間
・サイエンスライブまつり	1回
・他機関・団体との共同イベント	10件
・教員のための博物館の日	1回

(2) レファレンス（科学の質問への回答） 総数 676 件



(3) 出版物発行

普及雑誌「とやまと自然」 3回 県内小・中学校、高校等に配付
リーフレット「とやまサイエンストピックス」 12回 市内小・中学校等に配付
「星空だより」「富山で見える星空」12回 市内小・中学校等に配付
先生のための科学博物館活用ガイド（ワークシート等） HPで公開

(4) 学校による博物館の利用

「教員のための博物館の日」令和4年8月4日（木）実施

(5) オンラインによる授業参加（令和5年1月から開始）

奥田小学校3年生 令和5年3月7日（火）
堀川小学校1年生 令和5年3月15日（水）
堀川小学校1年生 令和5年3月20日（月）

6 プラネタリウム投影事業 (館報 P. 41-)

10/17～3/15 に更新作業を行い、3/16 にリニューアルオープン。

プラネタリウム観覧者数 51,203 人 (内、リニューアルオープン後は 8,215 人)

学習投影は、バス手配ができなかったことから市内学校は 8 校のみ観覧。

- ・一般投影 季節の星座解説と映像番組
- ・幼児向け投影 (園児を対象) ※3/16 以降は毎土日休日に生解説番組
- ・学習投影 (主に小 4 児童対象) 6～7 月
- ・特別投影・特別イベント 9～10 月
- 43 回

※富山市民文化事業団主催 プラネライブを 1 回実施。

「馬場俊英 Live in プラネタリウム」

参考：R 5 年度の観覧者数

	館入館者数		プラネ観覧者数		(参考) コロナ前 入館者数
	R 4 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 5 年度	
4 月	6610	10871 (164%)	4264	8467 (199%)	7767
5 月	9929	11985 (121%)	5882	8754 (149%)	10759
6 月	8554	10181 (119%)	6121	8119 (133%)	10834

(括弧内は前年度比。コロナ前入館者数は 2018 年度までの 10 年間の平均。)

7 恐竜化石事業 (館報 P. 48)

普及行事「夏休み恐竜探検隊」を 8 月 17 日、18 日に実施。参加人数 34 人。

8 情報・広報事業 (館報 P. 49-)

リモート形式の研修会参加や、サイエンスライブまつりや研究発表会の配信に活用。昨年度に大きく増えたウェブサイトのページビュー数が若干減少した (日平均で R4 年度 2,733、前年度 3,307、前々年度 1,903)。

9 他機関への協力 (館報 P. 54-)

職場体験学習「14歳の挑戦」およびインターンシップの受け入れ再開。
博物館実習 10人。

10 ボランティア事業 (館報 P. 60-)

登録ボランティア 90人。

野外行事や星空観察会で活動に加えて、展示やプラネタリウム番組制作への協力や蔵書整理など新しい活動の場が増えた。また、ボランティア企画の読み聞かせの活動を再開した。

11 「ジュニア科学賞・とやま」事業 (館報 P. 62、パンフレット)

第20回「ジュニア科学賞・とやま」の選考および表彰を実施した。

12 友の会 (館報 P. 63-)

会員数 一般会員 107人 家族会員 167人
賛助会員 6口 (令和4年12月末)
会報発行 8回

13 アンケート調査結果 (館報 P. 65-)

プラネタリウム幼児向け投影参加団体アンケートの実施